

歴史資料グループだより

第3号

発行日 平成31年3月29日 八戸市立図書館

平成30年度的主要事業

『八戸藩遠山家日記 第7巻』 発刊

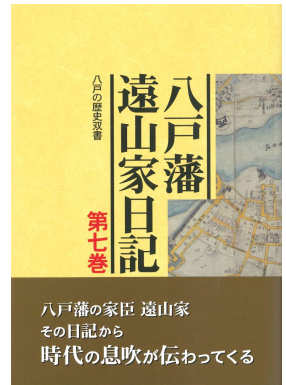
『八戸藩遠山家日記 第7巻』は、嘉永6年（1853）から安政5年（1858）までの6年間の日記7冊を、翻刻して収録しています。

主な執筆者は遠山家8代当主庄太夫ですが、庄太夫が病気になったため、安政5年4月8日からは、息子の庄馬が執筆しています。

庄太夫や庄馬の八戸での勤番の様子、大雪や地震などの自然災害、異国船の来航による軍事教練の増加や藩主の領内巡見の記述も見られ、幕末の不安定な社会情勢を読み取ることができます。

一 今日御不参之処、昨夕六日振御飛脚到着、江戸表浦賀湊江、異国船北アメリカ船軍艦之様子二而、四艘渡海二付、公儀より諸大名江夫々御堅被仰付（後略）

嘉永六年六月十八日条



税込価格2,570円で市内各書店および図書館にて発売中です。

平成30年度市史講座開催

今年度の八戸市史講座は、『新編八戸市史 民俗編』をテーマに7回開催し、延べ286人の参加がありました。

- ・ 第1回 上野末蔵氏 「八戸の習俗・寺院・神社」
- ・ 第2回 滝尻善英氏 「八戸の誤解され失われた信仰」
- ・ 第3回 上田三蔵氏 「八戸の昔話・伝説・世間話」
- ・ 第4回 古里淳氏 「八戸の人生儀礼と郷土芸能」
- ・ 第5回 榎谷伸夫氏 「南部弁いろいろ」
- ・ 第6回 滝尻善英氏 「近代の大衆文化」



市制施行90周年となる平成31年度は、八戸市が歩んできた歴史をテーマに全7回の講座を開催する予定です。

八戸民俗クイズ (答えは裏面にあります) *****

◆ 次の南部弁を標準語にしてみましょう。

- ①べご ②わんつか ③たまな ④あどまる



平成30年度 寄贈された資料の紹介

図書館では古文書や古い写真、絵葉書、地図など歴史資料の受入れを行っています。

今年度は上野俊子氏より色紙 2 点、山田饒氏より売上帳等 66 点、於本章氏より系譜 1 点、村上眞知子氏より証書等 380 点、鷹屋敷和保氏より三浦哲郎関係資料 74 点、竹内勝治氏より三浦哲郎関係資料 35 点、平光ルミ子氏より絵葉書 4 点、関野尋美氏より絵図等 44 点、西弘子氏より久保節自筆日誌等 22 点を寄贈していただきました。

山田氏、於本氏、村上氏、平光氏、関野氏、西氏より寄贈していただいた資料は『八戸市立図書館収集文書目録 第 2 集』に収録しています。

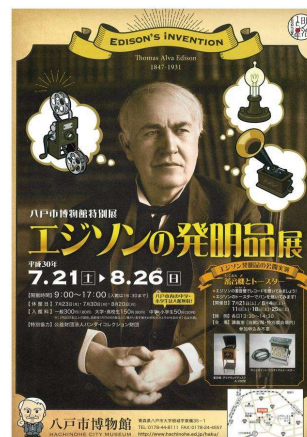


資料の貸出し

図書館では所蔵している資料を他の自治体や博物館等に貸出しています。

今年度は国立歴史民俗博物館の企画展示「ニッポンおみやげ博物誌」、八戸市博物館の特別展「エジソンの発明品展」、岩手県立博物館のテーマ展「祈りにみる動物たち」、戸村春樹個展実行委員会の「戸村春樹のしごと 2018 個展」、階上町教育委員会の「第 40 回階上町民文化祭特別展」、八戸ブックセンターのギャラリー展「紙から本ができるまで展 2018」において、資料が展示されました。

他にも出版物への掲載やテレビの放映などにも対応しております。



古文書点検

今年度は 7,267 点の点検を行いました。その結果、「大塚屋文書」は名称を「盛喜家（七戸）文書Ⅱ」に変更し、内容を再編成しました。また、「久保節文庫」は古文書検索システムから削除しましたが、従来どおり図書館ホームページの蔵書検索はできます。

八戸民俗クイズ 答え*****

- ①牛
- ②少し
- ③キャベツ
- ④遅れる



～郷土資料の展示～

図書館 2 階閲覧室入り口の展示ケースには、図書館で所蔵している郷土資料や歴史資料を用いた展示を行っています。

お立ち寄りの際はぜひご覧ください！！

発行・編集 八戸市立図書館 歴史資料グループ

〒031-0022 青森県八戸市大字糠塚字下道 2-1

TEL・FAX 0178-73-3234 E-mail/shishi@city.hachinohe.aomori.jp